

## 第14回(平成26年度)私立短大入試広報担当者研修会 分科会5報告書

運営委員：平松靖一郎(豊橋創造大学短期大学部)

### 【分科会5について】

分科会5は、事前アンケートで提示した①入試制度改革、②高校訪問、③オープンキャンパス、④対受験生プレゼン、⑤受験生情報の分析、⑥高大連携、⑦Web広報、⑧広報予算と戦略、⑨地域と短期大学という9つのテーマの中から、特に⑤受験生情報の分析、④受験生プレゼン、⑥高大連携の3つのテーマについて高い関心を示している者が多く集まった分科会でした。従って分科会5では、研修会の全体テーマである「育て、育てられる募集広報」ということについて、自大学を取り巻く環境をいかに見極め、どのように自大学のファンにしていくのか、どのように浸透させていくのかとすることを重点的に議論しました。

### 【分科会1日目】

1. 自己紹介／事前に作成を依頼した自己紹介カードを使用して、自己紹介と研修会参加の目的について発表。発表時間は、一人3分。
2. ワークショップの感想と意見交換／自分自身のコミュニケーション力について見つめ直す機会としました。
3. 問題提起／高大連携事業の取り組み事例(ラーニングフェスタ2014)の一例を紹介。

### 【分科会2日目】

1. 討論／分科会5参加者の中で、高い関心を示しているテーマとして多く出されていたテーマ3つを中心に、3つにわけたグループごとに各大学の事例を紹介してもらい、それに関連する事も含めて参加者相互に質疑応答する形式でグループ討議を進めました。
2. まとめ／グループ討議の中から見えてきた目標や理想とする募集広報について、一つの仮想短大を設定し、その短大の募集広報をどのように進めたらよいか(募集広報計画)を考えることで、参加者それぞれが研修会で気付いたこと学んだことを整理しました。



### 【分科会3日目】プレゼン案の作成とプレゼン発表

1. プレゼン案の作成／プレゼン案を作る共同作業を通して、募集広報における各担当者が共通認識を持つことの大切を理解するとともに、募集広報戦略の重要性を理解し、各担当者が創意と工夫を持ってプレゼンしていかなければならないことの気付きが有りました。
2. 全体発表／同じような事柄を発表する際にも、発表者の発表の仕方一つで大きく印象が変わり、伝わり方も変わるということを認識できました。



#### 【分科会5全体を通して】

今回の分科会5の構成員は、年齢的には20代から60代と幅広い年代の方であったが、広報担当歴で見ると、比較的経験年数が浅い(4年以内)方が多く、入門的な研修を望んでいる雰囲気を感じる部分もありました。しかしながら、経験年数に関係なく参加者がこれまで経験してきた事の事例や悩みを出し合う中で、同じ短期大学業界で働くものとしての仲間意識が芽生え、自大学での取り組みについて、改めて考え直すきっかけとなったと思います。また、事例の取り上げ方や話し方など、日頃自大学の業務の中では見落としがちな点について、さりげなく気付かされる場面もあり、参加者個々に、自分自身を振り返る機会になりました。

#### 【参加者の声(抜粋)】

- 同じ悩みを抱えた方々が、普段の仕事にどのように取り組んでいるのかが分科会を通して、理解できて、嬉しかったです。活力を得た後は、行動あるのみ。次回参加することが有れば、その行動の結果の報告ができるように日々頑張ります。
- 各大学の問題を知ることで、自学の課題を見つけることができました。